

江津工業高校の魅力化が進む！



江津工業高校 建築・電気科 × 江津本町

江工生まちづくりプロジェクト

ー江工生は何を学んでいるのか？

江津工業高校は工業の実践的な知識や技術を学べる学校です。これらの学んだ知識や技術は仕事や生活の中で生かされて初めてその真価を発揮します。本校では地域の中で実践しているプロジェクトがあり、生徒の学びを活かす機会が設けられています。今回はその一例をご紹介します。



ー「アルベルゴ・ディフーズ」というまちづくり

まちでのヒアリングから、江津は宿泊施設が少なく、滞在環境が整っていないという課題が見つかりました。そこで登場したのが「アルベルゴ・ディフーズ」。イタリア語で「分散ホテル」を意味し、まちの中にある複数の建物を一つのホテルのようにして、まち全体を宿泊レジャースポットにするというものです。「建築甲子園2018」にて生徒がこの構想を発表し、準優勝にあたる「まちづくり委員長特別賞」を受賞。授業で習った建築や電気の知識と技術を生かし、構想を現実に行っています。

江津本町の玄関口 ときわ印刷

アルベルゴ・ディフーズはまちにある複数の施設を宿泊施設とする構想です。このとき、ホテルの受付とも言える場所もまちの中に必要になってきます。



建築コースの生徒は内装の工事を担当

宿泊施設第一号 山辺荘

この構想で無くてはならないのが宿泊施設です。宿泊施設の第一号として大正15年築の日本家屋である山辺荘をリノベーションし、宿泊できる環境を整えました。



床の張替え作業の様子

電気コースの生徒は配線の工事を担当



そこでときわ印刷跡の建物をリノベーションし、受付として使用できるように準備しています。校内とは異なる条件での作業に四苦八苦するなど、実際の現場で作業する難しさを体験できました。すでにこの建物を活用したイベントも行われていて、まちあるきの玄関口としてよりふさわしくなるようさらに改修作業を進めています。



旅館業許可の申請も行った

山辺荘はリノベーションだけでなく旅館業許可の申請も生徒が行い、実際に宿泊施設をオープンするまでのプロセスを一通り体験しました。インターネットの宿泊予約サイトにも登録し、今年の1月より予約可能になっています。

ゲストハウス山辺荘 1棟貸し (1日1組限定) 由緒ある山辺神社敷地内に泊まろう
Goteu, Shimane, 日本

まち歩きを支える東屋

まちあるきで疲れたとき休憩できるよう、東屋を製作しました。今年の1月に完成し、近本大正堂の隣に設置しています。



完成後東屋内で記念撮影

東屋設置のきっかけは地域の方へのヒアリングでした。地元企業の方にも指導いただくなど、地域一体となった東屋が完成しました。



宿泊予約サイトAirbnb(エアービーアンドビー)で予約が可能。右のQRコードからアクセスできる。

ーおわりに

こうした活動には地域の皆さまの協力が必要不可欠です。これまで多くの方にご支援いただきました。心よりお礼申し上げます。生徒の活動の機会をより多く作り学びを充実させられるよう、また地域の活性化にもつながるよう頑張っていきますので、これからも江津工業高校の取組みを応援していただけますと幸いです。